

スキヤニング (探し読み)

必要な情報だけを読み取る

不必要な部分は捨てる

スキミング (走り読み)

全体にさっと目を通して要旨を把握する

例 1 要旨把握タスク

タスクシートを使って

重要な語句を本文の中から取り出して埋めていく

→「文化中級日本語」8課「地球が危ない」

例 2 新聞記事の読み取りなどで重要な 5W1H を取るタスク

シート例

次の新聞記事を読んで、空所に言葉を入れなさい。	
いつ	()
どこで	()
誰が	()
何を	()
どうした	()

例 3 真偽式タスク

内容に合っているものに○、合っていないものに×をつける

例 4 質問タスク

本文の主題を捉えるための質問に答えるタスク

→日本語ブックス「教材草稿シリーズ」2015.8「ゆう活」

例 5 抜き書きタスク

重要な部分の文章を書き抜く

→ 「みんなの日本語中級 9課」「読もう」

新しい日本語能力試験対応

テーマの同じ複数の文章を読み比べて内容を把握する

例 6 順番並べタスク

速読後、段落ごとに内容をまとめて、

どんな順番で並べられているかを選ぶ

→ 「文化中級日本語」7課 「うなぎ」

例 7 キーセンテンスを見つけるタスク

作者の意見や主張が書かれている文章を読んで

作者の意見、一番主張したい文を見つける

シート例

これは、○○に関する文です。
書き手は何を伝えたいのでしょうか。
一番大切なメッセージが書かれているところに
下線を引きましょう。

例 8 段落並べ替えタスク

初めから段落ごとにアランダムに並べられた文章を

読んで、パラグラフを並べ替える

公園や町の中などで、「この中に入るな」「魚つり禁止」「止まれ」「わたるな」などの命令や禁止の文をよく見る。こういうのは短くて便利だし、もう慣れてしまっていて、失礼だと思ったことがなかった。しかし、この間遊びに行った所で、ちょっと違うものを見た。そこは、高さ 3000 m の山で、きれいな花がたくさんさいている所だったが、だれも花をとっている人はいないし、ゴミもなく、とても気持ちが良かった。そこにあるバスの停留所に「とるものは写真だけ、残すものは思い出だけ」という紙がはってあった。「花はとるな」「ゴミは落とすな」と言われるよりもずっと良かった。こう書いてあるからきれいなのだとは言えない。しかし、こういうあたたかい言葉の使い方ができる人たちが守っているから、山がきれいなのだとは言えるだろう。こんな言葉ばかりなら、楽しいだろうなと思う。同じように「わたるな」よりは「100 m 向こうでわたれます」の方が親切だし、「魚つり禁止」よりは「私たちを連れて行かないでください」の方が面白くて分かりやすいと思う。

同じ考えからだろうか、このごろ「××を払え」という知らせが、「皆様からいただいたお金は××と〇〇に使われています」となってきた。こう言われると、払ってもいいなという気持ちになるから面白いものだ。

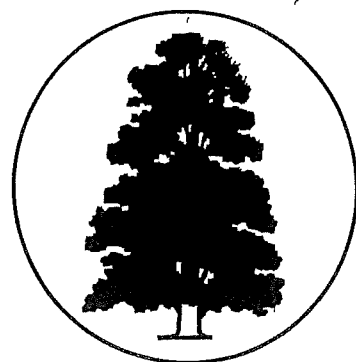
A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

- () 町の中で見る命令や禁止の文はたいてい短い。
- () 短い命令や禁止の言葉は便利だ。
- () 命令の言葉は失礼なので、みんな怒っている。
- () これを書いた人は最近、花がきれいな海岸へ遊びに行った。
- () この人がのぼった山はきれいだった。
- () その山には「写真をとるな」という紙がはってあった。
- () その山で見た命令や禁止の言葉は、それまで見たものと違っていた。
- () この人は山で見たような言葉がもっと多くなればいいと思った。
- () このごろ「××を払え」という知らせが多い。
- () 「××を払え」という命令の文を読むと、払いたくなると、この人は言っている。

B 次の質問に答えてください。

- 命令や禁止の文が短いのはどうしてですか。
- 人々が命令や禁止の文を見て失礼だと思わないのはどうしてですか。
- この人は最近どんなところへ遊びに行きましたか。
- この人がそこで見たのは、どんな禁止の言葉でしたか。
- この人はそれを見て、どう思いましたか。
- この人はその場所ではどんな人たちに守られていると思いましたか。
- 「××を払え」と「皆様からいただいたお金は〇〇と××に使われています」とでは、どう違うのでしょうか。
- この人は命令や禁止の文をどのような言い方にすればいいと思っていますか。
- 「駐車禁止」と同じ意味でこんな言い方がいいと思う言葉を考えてください。
- 意味は同じでも、このような言い方がいいと思う例をあげてください。

地球が危ない



私たち人類が生まれた日、地球は澄み切った空を持ち、青々とした緑に覆われていました。それから約400万年、現在の地球の空や緑は、その頃の輝きを失いつつあります。一体何が原因で、このようなことになってしまったのでしょうか。

それは、私たちの生活が便利になることと引き換えに起こってしまったのです。17世紀後半、産業革命により技術革新が進み、やがて、移動の手段は徒歩から自動車や電車に、燃料は薪から石油やガスに変わり、食べたいものは時期を問うことなく食べられるようになりました。こうして、私たちは自然の流れとは別の生活リズムをもち始め、次第に自然との調和を失い始めたのです。この調和が崩れていくのと同時に、世界規模での問題が生まれてきました。それが環境問題です。

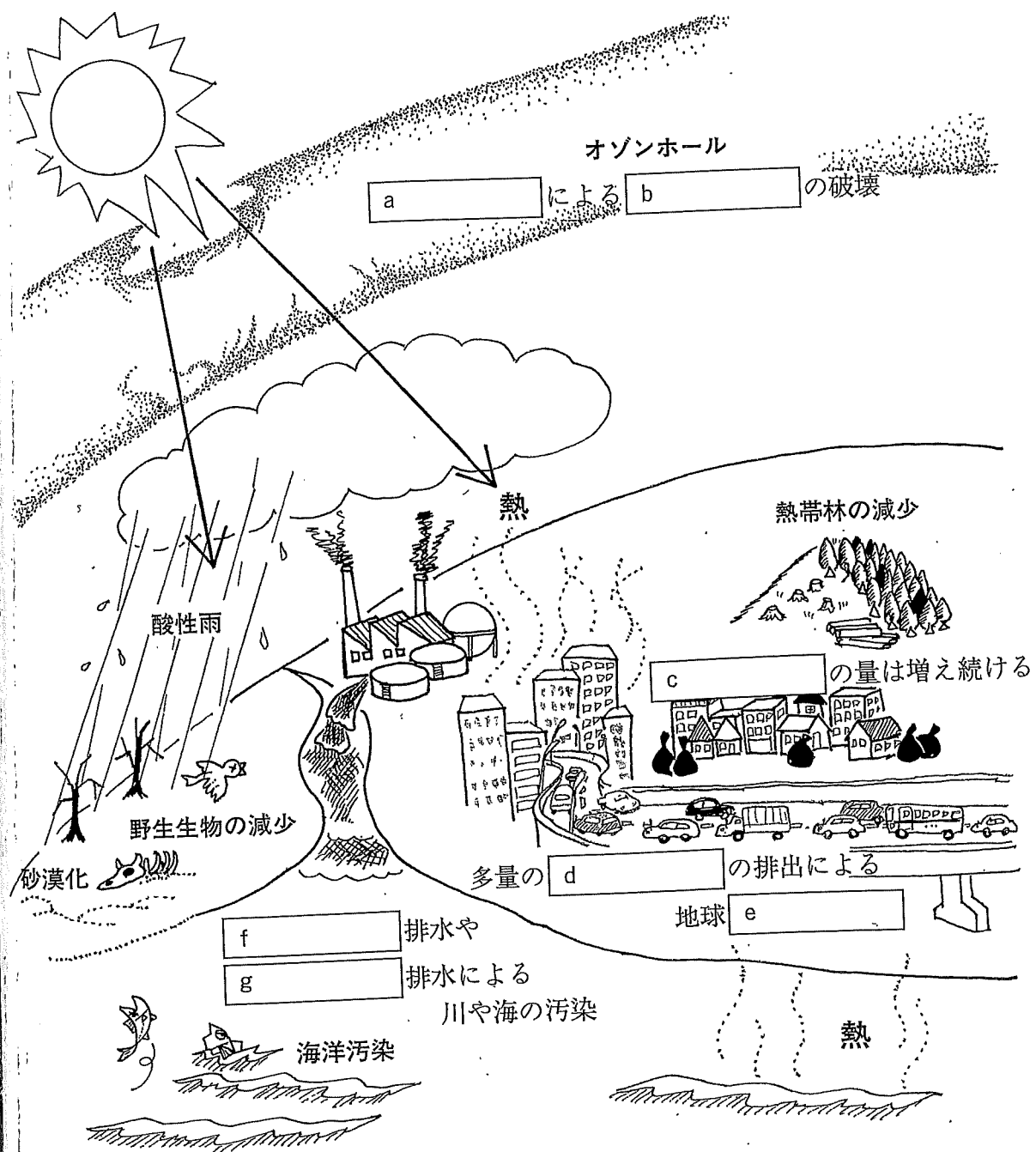
多量の二酸化炭素の排出による地球温暖化、フロンガスによるオゾン層の破壊、生活排水や工場排水による川や海の汚染など、環境の問題は私たち一人一人の生活と大きな関係があるのです。なかでも、ごみや生活排水の問題はもはや無視できなくなってきました。私たちの暮らしが便利になり、豊かになればなるほどごみの量は増え続け、そのごみを処分する埋め立て地はもう飽和状態です。また、毎日使う洗剤や油は下水道を通じて、川や海へと流れ込み、確実に環境を汚染しているのです。

地球の環境は、大気や水、土壌、生物、緑などがお互いに関連し合って成り立っています。これらのバランスは、地球が誕生してからずっと長い間保たれてきました。しかし、私たち人間は便利な生活を追求し、自然との調和を忘れたばかりに、少しずつ環境を悪化させてしまったのです。今まで何億年もの間保たれてきた地球環境のバランスが、今、崩れようとしています。人間は地球を破壊するために生まれてきたのでしょうか。

このような問題をどのように改善していくべきなのか。それは、私たちの生活一つ一つを見直し、実践していくほかありません。地球の環境を守り、地球に住むすべての生物を守るために、できることから始めてみましょう。

(社団法人 日本広報協会『地球が危ない—環境を守る暮らしの提案』より)

本文1を読んで、下の絵の の中に環境問題に関する言葉を入れてください。



や 、、、 が互いに関連し合って、地球の環境が成り立っている。

読もう

『宝の山』

私たちは石油や木材などの地球の資源を使い、さまざまな製品を作り出しています。それらの製品の多くは消費され、使い捨てられています。私たちはこれを「ごみ」と呼びますが、このごみは実は「宝の山」でもあるのです。下の図を見て分かるように、家庭や工場から出されたごみが最後には立派に資源として活用できるのです。

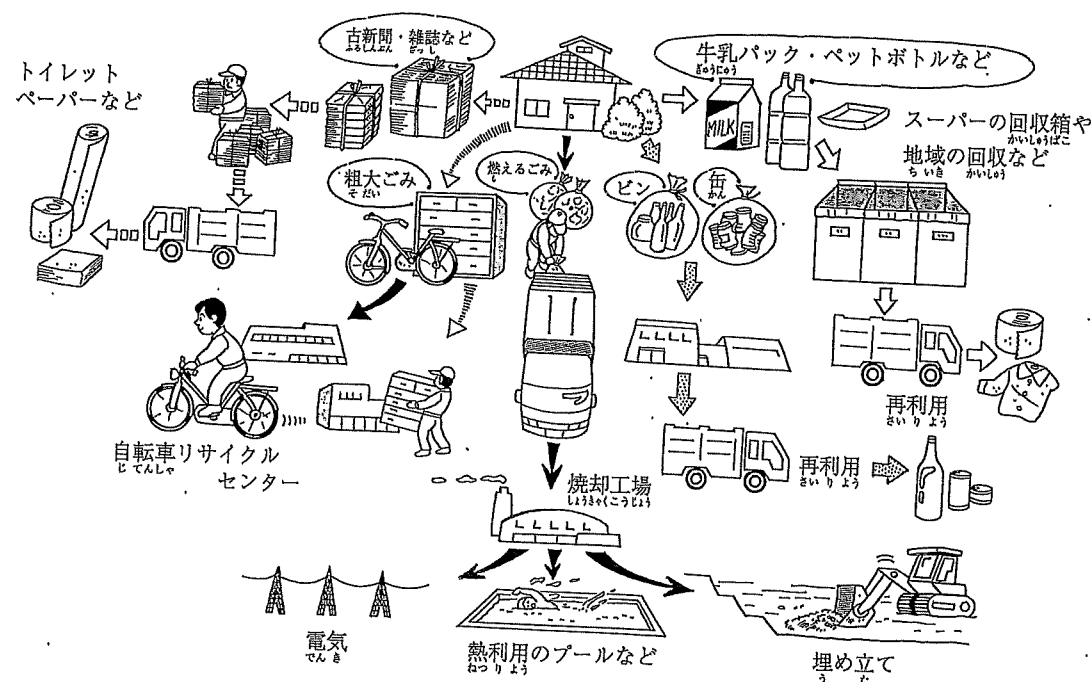
ごみを十分に再利用するためには、技術の進歩が欠かせませんが、それとともに大切なのは、家庭でも工場でもみんなが正しく決められたとおりにごみを分けて出すということです。

宝の山を単なるごみにしてしまうか、資源として活用できるかは、私たちの毎日の努力によるのです。

4. 「読もう」の内容を読んで、正しいものには○、正しくないものには×を入れてください。
- 1) 私たちが毎日使っている物は地球の資源から作られている。 ()
 - 2) ごみの中にはよく見ると、金やダイヤなどの宝物も混じっているの、
「ごみは宝の山」と言われている。 ()
 - 3) ごみは自分が考えた規則で分ければよい。 ()
 - 4) ごみの再利用は技術の進歩と関係がある。 ()

活動

1. 次の内容で作文を書いてみましょう。
- 「地球の環境を守るために、今私達にできること、私達がしなければならないこと」



「教材草稿シリーズ」:読み物教材の原稿を毎月2つ掲載します。学習者のレベルに合わせて、自由に加工し使用してください。

時事読み物（初級・中級レベル、本文 390 字）

「ゆう活」

日本人は働き者です。朝から夜おそくまで働きます。あまり自由な時間がありません。そこで、2015 年 7 月 1 日から「ゆう活」が始まりました。

「ゆう活」とは、午後、明るいうちに仕事を終わらせて、夕方の時間を有効に使うという活動です。そのかわり、いつもより早く仕事を始めなければなりません。「ゆう活」をすると、早く帰って家族と一緒に過ごしたり、健康のために運動したりすることができます。「ゆう活」は、7 月と 8 月の 2 か月間行われます。

しかし、「ゆう活」には問題もあります。たとえば、通勤時間が長い人は、始発電車に乗っても、会社が始まる時間に間に合いません。また、仕事が残っているのに、早く帰ると、仕事がどんどんたまって、結局、いつか残業しなければなりません。

このように、「ゆう活」はいいことばかりではありませんが、もし「ゆう活」が成功したら、日本人の仕事のスタイルが大きく変わるかもしれません。

(参考: 政府広報オンライン、YAHOO! ニュース)

《 設問 》

- Q 1. 「ゆう活」とは、どんな活動のことですか。
Q 2. 「ゆう活」をすると、どんなことができますか。
Q 3. 「ゆう活」には、どんな問題がありますか。

者

そこで

うちに 有効

活動

運動

通勤 始発

どんどん たまる

結局 ばかり

スタイル

《 調べましょう 》

名詞	: 者 ^{もの} 始発 ^{しはつ} スタイル
な形容詞	: 有効 ^{ゆうこう} (な)
名詞/動詞 III	: 活動 ^{かつどう} (する) 運動 ^{うんどう} (する) 通勤 ^{つうきん} (する)
動詞	: たまる I
副詞	: どんどん ^{けっきょく} 結局
接続詞	: そこで
その他	: うちに ばかり

《 選びましょう 》 【 】の中から正しいことばを選んで () に入れてください。
必要なら形を変えてください。

【 通勤(する) うちに 活動(する) どんどん たまる 結局 運動(する) 】

- (1) 彼女は、毎日、電車とバスで () います。
(2) 多くの動物は、夜、() います。
(3) 今日は、私がお金を払いますから、() 注文してください。
(4) ごはんは、あたたかい () 食べたほうがおいしいですよ。
(5) 買うか買わないか 2 時間考えて、() 買わないことにした。

《 話しましょう 》

- 1) 日本人は働き者だと思いますか。それはどうしてですか。

2) あなたの国では、ふつう、何時から何時まで働きますか。

3) あなたは「ゆう活」について、どう思いますか。

読もう

よ
「身の周りの日本製品」についての投書
み まわ に ほんせいひん とうしよ

A 日本の電気製品は品質が良いので、とても評判がいい。しかし欠点もある。それは必要のない機能が付きすぎていることと、モデルチェンジが早すぎるからだ。それにマニュアルの説明が細かすぎると思う。

クマール・バラジ (インド)

B 日本製品は故障が少ない。でも以前友達のビデオデッキが故障した時、修理代が1万円もかかった。1万円は高いと思うし、それに修理に1か月もかかった。

ソムチャイ・ワンゲーオ (タイ)

C 日本の製品といえば、やはり電気製品だ。いろいろ買ったが、いくら小さい物を買っても、その製品に詳しい説明書や保証書が付いていたのには感心した。使う時も楽だし、何となく安心感が持てる。

アリ・モハメド (インドネシア)

読もうの練習

よ れんしゅう

- 例： 日本製品といえば、やはり電気製品だ。
1) 冬の楽しみといえば、やはりだ。
2) 若い人たちに人気のある町といえば、やはりだ。
3) 日本の生活で一番困ることといえば、やはりだ。
4) 最近世界で問題になっていることといえば、やはりだ。

- 例： 李さんは最近何となく(元気がない)。ホームシックかもしれない。
1) 馬さんは最近何となく()。いいことがあったのかなあ。
2) アナンさんは最近何となく()。恋をしているのかなあ。
3) (私は)最近何となく()。勉強のしすぎかもしれない。
4) (私は)最近何となく()。毎日スポーツをするようになったからだろう。

3. 「読もう」の内容を読んで、答えてください。

日本製品について3人の人が「いいと思っているところ」「良くないと思っているところ」を三つずつ書いてください。

(いいところ)

1) _____

2) _____

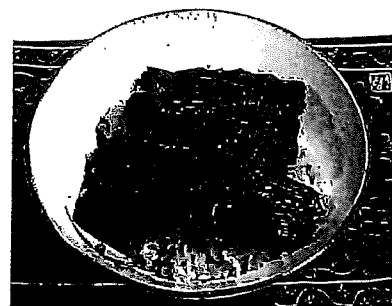
3) _____

(良くないところ)

1) _____

2) _____

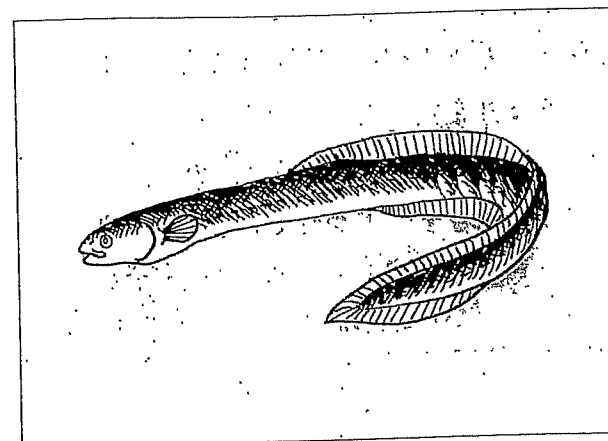
3) _____



く香ばしい匂いと「土用の丑の日」の看板に誘われたら、もう、食べずにはいられない。思わず、うなぎ屋ののれんをくぐってしまつという人も多い。あつあつの真つ白いご飯の上に、焼きたてのうなぎがのせられ、その店自慢のたれがほどよくかかっているうなぎ。山椒の粉をさつとふりかけ、一口目を口に入れた瞬間といったら、もう「生きていてよかった。」の一言に尽きる。食文化の変化が激しい昨今、栄養面でも味覚の面でも共に優れているうなぎの伝統が、これからも続くことを願ってやまない。

この二つの歌は「とてもやせている」石麻呂さんに申し上げる。夏やせにはうなぎがよいそうだから、うなぎを取って食べたらどうだ。(しかし)やせてはいても生きていなくてはいかたがないのだから、うなぎを取ろうとして川に流されるなよ。」という意味で、とてもやせている石麻呂のことを笑った意地悪な歌である。歌の評価はさておき、

やせたる人を笑へる歌一首
石麻呂に 我もの申す
夏やせに 良しというもので
うなぎ取り召せ
やすやすも 生けらばあらむを
はたや はた うなぎを取ると 川に流るな



体が弱っている時、例えば夏の暑さに負けそうな時に「元気が出る食べ物は何か」と尋ねられたら、日本人なら「うなぎ」と答える人が多いだろう。それもそのはず、うなぎはなんと奈良時代から今に至るまで、その栄養価が評価され続けている伝統のある食べ物なのだ。

そのことを裏付ける例を探してみると、奈良時代に作られた歌集『万葉集』に次のような短歌があった。

このような古い時代から、うなぎが栄養のあるものとして認められていたことは確かだろう。そして、江戸時代には、夏の「土用の丑の日」にうなぎを食べるといふ習慣が始まり、それは現在に至っている。

旧暦の夏の「土用の丑の日」は、現在の暦でいうと七月の下旬に当たる。夏の暑さも本格的になり、夏ばてする人も出始めるこの頃に、ビタミンAをはじめ、脂肪も蛋白質も豊富に含まれている栄養豊かなうなぎを食べる習慣ができたことは、すばらしい祖先の知恵だと言える。

ところで、このうなぎの調理法だが、関東地方と関西地方ではかなり違う。最も大きな違いはうなぎの裂き方で、関東ではうなぎの背中を裂くのに対して、関西では腹を開く。これは、江戸の武士は「腹を切る」という言葉を聞くと「切腹」を連想するので縁起が悪いと考え、大阪商人は腹を割って正直に商売をするのがいいと考えたからだといふ説がある。このような話が伝わっているのも、うなぎが長い間人々に親しまれてきた証拠である。

さて、気温の方もうなぎのぼりに上がる夏、うなぎを焼



1. 本文1は、うなぎについていろいろな観点から書かれています。次の中から本文に書かれていることを選んで、○をつけてください。

- ① うなぎに対する日本人の考え方
- b 地方によって違ううなぎの調理法
- c うなぎに対する筆者の願い
- d うなぎを食べる習慣
- e うなぎ料理の種類
- f 日本人がうなぎを好きになったきっかけ
- g うなぎが伝統のある食べ物だということを裏付ける例
- h うなぎ屋でうなぎを食べた時の感想

2. 1の問題で○をつけた記号を、書かれている順番に並べてください。

a →
